

2017年度（平成29年度）事業活動報告書

法人の名称 特定非営利活動法人グリーンママ

1 事業の成果

（1）育児支援に関する事業

「みどりっこ親子の居場所はなまる」（以下はなまる）「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」（以下いっぽ）の運営、『みどりっこカレンダー』『みどりっこひろば』を通じた子育てに関する情報の提供、緑スポーツセンター定期教室を中心とした一時託児等を行い一定の成果を上げた。

はなまるでは、子どもの成長に合わせたプログラムや出産を控えた人へのプログラムを提供することが、継続的なひろば利用につながった。各プログラムでは母親が自然に話しができる環境を作り、どのプログラムに参加しても子育ての不安が軽減できるようにした。子どもと過ごす喜びや楽しさに自然に気付くような環境を整えていきたい。また、ひろばでの一時預かりは定期の利用者が増えるなど、年間を通してコンスタントな利用があった。

いっぽは、年間を通して利用者数が増加した。平成28年度から「どの年齢の子も来やすい場所」になるよう、プログラムの工夫やひろばのレイアウト変更など重点的に取り組んできたが、その効果が表れてきた。0歳の時からいっぽに親しみ、年齢が上がっても継続して利用する人が増えた。3・4歳児の利用数も増えている。0歳児の利用数も多いが、保育所入所前に地域に馴染んでおきたいと地域の施設を活発に利用する人が多くなっているように感じる。子育てを通じて地域を知る初めの場として、引き続き情報提供などにも力を入れていきたい。

（2）障がいのある子どもと親への支援事業

いっぽにて「気になる子のサロン」の開催、障がい理解講座の開催を行った。また、いっぽのサロン参加者からの希望を受け、はなまるでも「気になる子のママのほっとサロン」を開始し、母親同士が気軽に話すことができる場を増やした。

（3）児童及び青少年の健全育成にかかる事業

いっぽにて中学生・大学生のボランティアや看護学生の実習受入れを行い、これから親になる学生が乳幼児とふれあえる機会を提供した。

2 事業内容

（1）育児支援に関する事業

①「みどりっこ親子の居場所はなまる」の運営

実施日時	月～金曜日 午前9時30分～午後4時30分 土曜日（月1回）午前9時30分～午後2時30分
実施場所	みどりっこ親子の居場所はなまる
従事者	2人/1日
対象	緑区及び近隣在住の未就学児とその保護者（おもに0～3歳児）
支出額	8,484,415円
事業実績	<ひろば> 年間利用者数（大人・子ども）：4,448人（4,310人） （）内数値は 前年度実績 一日当たりの平均利用者数：18.0人（17.5人） 新規登録組数：199組（187組） <一時預かり> のべ預かり児童数：207人（181人） 総利用時間数：649時間（584.5時間）

【1年間の報告】

- 赤ちゃんとどう接したら良いかわからないという利用者の声から「あかちゃんと楽しもう！」をスタートした。どのように触れ合い遊べば良いかなど、楽しみ方を紹介し、戸惑いや不安を感じている親の参考になっている。子どもが同年代の親のお友だち作りのきっかけにもなった。隔月開催だったが好評につき新年度は毎月開催とする。

- ・「栄養士さんのいる日」を設け、子どもの食生活の不安や、困っていることなどの解消につながっている。下期2回開催したが好評につき新年度より隔月開催とする。
- ・出産を控えた人向けのプログラム「マタニティタイム」に参加した人が出産後もひろばを利用してきている。地域のボランティアに講師としてきてもらい特別講座としてスタイ作りや布おもちゃ作りを企画し好評を得た。
- ・区の保健師による利用者向け講座「いやいや期をのりきろう！」をひろばにて開催。いやいや期真っ只中やこれから迎える親の不安解消につながった。
- ・地域の子育て連絡会、要保護児童対策地域協議会緑区実務者会議に参加した。地域の支援者や様々な年齢の子育てに関わる機関、人とつながりができ、広い視野で子どもを見守る体制に加わることができた。
- ・地域の子育てサークルのスタートにあたり、協力し、また話し合いの場を提供した。今後も交流を深めていきたい。
- ・一時預かり利用者の割合は1歳児が6割を占めている。預かりの理由はリフレッシュ・通院等が多い。

②「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」の運営

- ア. 「親子の居場所事業」「子育て相談事業」「情報収集・提供事業」「ネットワーク事業」「人材育成・活動支援事業」「利用者支援事業」

実施日時	火～土曜日 午前9時～午後5時
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	7人/1日
対象	緑区及び近隣在住の未就学児とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	29,520,863円
事業実績 ()内数値は 前年度実績	年間利用者数(大人・子ども): 23,409人(21,020人) 一日当たりの平均利用者数: 96.7人(86.9人) 累計登録者数(子ども): 5,004人(5,105人) 29年度新規登録者数(子ども): 854人(868人) 新規ボランティア登録29人(25人)うち利用者15人(6人) 年間ボランティア活動者数 95人(113人)

【1年間の報告】

- ・月齢の低い0歳児の利用が増えたので、2～5か月児を持つ親の交流をはかるプログラムを1月より実施。次年度の定例プログラムとして毎月開催につながった。
- ・ひろばのレイアウトを変更したことで、どの年齢の子も落ち着いて遊ぶ様子が見られるようになった。コーナーがはっきりしたので、親子の動きの流れがスムーズになりトラブルも減った。以前は、ひろばのあちこちに親子が座っている感じがあったので、危険な時もあった。危険が減り、大きい子の利用しやすさにもつながった。おもちゃの配置を工夫したことで、異年齢の交流が進みやすいスペースもできた。
- ・コーナーごとにベンチを置いたことで、妊婦も利用しやすくなった。そのことが継続した利用につながり、出産後もきょうだい児を連れ利用している。きょうだい児の利用が増えたことは、二人目以降の子を育てる寛容な親の利用が増えたこととなり、おたがいさまの雰囲気が出やすくなった。利用者間の会話や交流も増えている。
- ・ネットワーク事業として、「子育て支援連絡会」の中で、特に支援の場が少ない3エリア(白山・三保・長津田みなみ台)を限定し、居場所作りを進めた。
- ・利用者支援事業では、子育てパートナーが年齢別プログラムに入り、相談のきっかけとなるよう声かけを行った。また、区内の様々な関係機関の会議やイベントに参加し、相談時の連携が図れるよう関係作りにつとめた。

イ.「横浜子育てサポートシステム」緑区支部運営

実施日時	火～土曜日 午前9時～午後5時
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	3人/1日
対象	横浜市在住の0歳から小学生とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	8,585,690円
事業実績 ()内数値は 前年度実績	会員数: 利用会員634人(612人) 提供両方会員237人(248人) 29年度入会者数: 利用会員181人(168人) 提供両方会員16人(20人) コーディネート件数: 217件(165件)

事業実績 ()内数値は 前年度実績	実働会員数：利用会員のべ972人(957人) 提供・両方会員のべ784人(805人) 活動件数：5,670件(6,048件) 入会説明会：34回実施199人参加 (うち利用会員162人・提供・両方会員27人)(37回210人) 個別説明：81人参加(利用会員73人 提供・両方会員8人)(89人) フォローアップ研修：2/1 12人参加 交流会：6/29 11人参加 9/29 7人参加 10/6 8人参加 10/26 5人参加 子育てサポート通信：3回発行 「いっぽ保育隊」：活動件数52件(37件) のべ活動者179人(134人) 保育子ども324人(250人)
--------------------------	--

【1年間の報告】

- ・いっぽひろばで提供会員が預かる際に専用のエプロンを着用することでひろば利用者にサポートの預かりの様子を周知することができた。お試し預かりの利用が昨年度の倍以上あり、サポートを利用する良いきっかけとなりその後の利用にもつながった。
- ・活動の機会が少ない、日中の活動を希望する提供会員を「いっぽ保育隊」に誘い、保育を行うことで提供会員としての活動の意欲の維持を図ること事が出来た。
- ・担い手である提供会員の会員登録が今年度は少なかった。30年度は、提供会員対象者への周知に力を入れていきたい。

③子育てに関する情報の発信・提供

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	4人
対象	緑区および近隣の未就学児とその保護者
支出額	1,599,440円
事業実績	『みどりっ子カレンダー』：毎月1000部発行、掲載園26園、配布先46か所 『みどりっこひろば』：随時情報更新 『みどりっこひろば』メールマガジン：毎月発行431人登録(前年度431人) 『みどり子育て応援ガイドブック』改訂版編集

【1年間の報告】

- ・区内の保育施設の地域開放事業を紹介する『みどりっ子カレンダー』では、掲載園に幼稚園が増え、保育園21園、幼稚園5園となった。
- ・インターネットで区内の子育て情報を提供している『みどりっこひろば』では、イベントカレンダーの掲載件数が増えている。
- ・緑区が発行する『みどり子育て応援ガイドブック』の改訂版の編集を行った。

④集団出張保育

実施日時	通年
実施場所	緑スポーツセンターほか
従事者	登録スタッフ29人
対象	緑区および近隣区の子育て中の保護者とその子ども
支出額	330,599円
事業実績	定期託児：41回実施、保育した子どものべ106人、スタッフのべ93人 (前年度42回 保育子どものべ94人 スタッフのべ93人) 出張保育：9回実施、保育した子どものべ33人、スタッフのべ32人 (前年度9回 保育子どものべ31人 スタッフのべ31人) お話し会：コスモスフェスタ出演

【1年間の報告】

- ・新規で「オーリーブみどり」からイベント時の同室見守り保育を受けたが小さい子どもの参加はなかった。

- ・新規で長津田地域ケアプラザから講座時の保育を受けた。ながつたパオパオと合同で保育を行った。
- ・保育スタッフ向けの研修として、2月にコミュニケーション講座を子育てサポートシステムフォローアップ研修と合同開催した。登録スタッフ2名が参加。

⑤地域に向けた子育て支援の促進事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽほか
従事者	3人
対象	緑区および近隣区の子育て中の保護者とその子ども
支出額	329,014円

【1年間の報告】

- ・緑区より児童虐待防止推進月間事業「子育て Sweet&Bitter」の運営を受託。子育て中の親や区内の子育て支援者が共に参加できるコンサートを開催。子育て支援に関わる方々を紹介し、母親の孤独感の軽減になるよう努めた。また、母親が発表できる場を設け、いきいきとした表情が見られた。
- ・地域の連絡会等に参加し、区内で子育て支援を行う法人として蓄積した専門性をもとに、地域の子育て力を上げるための提言や、子育て家庭の現状を伝え、理解をすすめている。また、様々なジャンルの他団体との連携を図り、法人が行うそれぞれの事業をより充実したものにすることにつなげている。

<参加している緑区内の委員会・団体等>

- 「緑区要保護児童対策地域協議会」いっぽ、はなまるともに参加
- 「緑区防災ネットワーク運営委員会」(松岡美子)
- 「緑区乳児期の発達支援に関わる機関連絡会」(松岡美子)
- 「十日市場中学校地域交流事業実行委員会」世話人(松岡美子)
- 「緑区地域施設間連携会議」(松岡美子)
- 「緑区生活困窮者自立支援制度定例支援調整会議」(松岡美子)(新)
- 「緑区次世代育成を語る会」(松岡美子)
- 「十日市場施設間連携会議」(松岡美子)
- 「みどり障がい児者ネットワーク」幹事(松岡美子)
- 「緑区市民活動支援センター運営委員会」(松浦千恵)
- 「緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会」(松浦千恵)
- 「子育てひろば全国連絡協議会」正会員
- 「十日市場自治会」特別会員
- 「新治西部地区社会福祉協議会」会員
- 「緑区社会福祉協議会NPO等分科会」参加

<市域の活動>

- 「横浜市市民協働推進委員会」委員(松岡美子)
- 「横浜市地域子育て支援拠点ネットワーク」(松岡美子)
- 「よこはま一万人子育てフォーラム」(松岡美子)

(2) 障がいのある子どもと親への支援事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ、みどりっこ親子の居場所はなまる
従事者	4人
対象	緑区および近隣の未就学児及び小学生とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	14,534円
事業実績	気になる子のサロン 年間12回実施・のべ68組133人(大人90人・子ども45人)参加(前年度14回実施・のべ81組169人参加) 気になる子のママのほっとタイム 3回開催・のべ8組15人(大人8人・子ども7人)参加 障がい理解講座 2/3開催 参加者43人

【1年間の報告】

- ・ いっぽにて、毎月「気になる子のサロン」を実施。子どもの発達に不安や心配のある保護者同士が、肩の力を抜いて話ができる場となっている。乳幼児期から青年期までの子どもを持つ保護者が参加。参加していた親が先輩として話しを聞いたり、情報交換できる場ともなっている。
- ・ はなまるにて、「気になる子のママのほっとタイム」を開始した（11・1・3月開催）。参加人数はまだ少ないが、サロンとして定着できるよう新年度の毎月開催につなげた。
- ・ 「障がい理解講座」として「親育ちの25年～自閉症の長男とともに～」講師：鈴木明子さん（野のすみれクリニック リハビリテーション科院長）を開催した。

（3）児童及び青少年の健全育成にかかる事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽほか
従事者	3人
対象	地域の中中学生・高校生、福祉・子育て関連職に就く者
支出額	0円
事業実績	中学生ボランティア 27人 高校生ボランティア 7人 大学生ボランティア 7人 学生ボランティアのべ活動人数 125人 インターンシップ受入れ 1人 大学生実習受入れ 39人

【1年間の報告】

- ・ 中学生・高校生・大学生のボランティアを受入れ、乳幼児とのふれあいを通して青少年の健全育成につなげた。
- ・ 「十日市場中学校地域交流事業」に参加し、近隣にある中学校との交流を盛んにし、ボランティアや職業体験の場としての受入れを行った。
- ・ 十日市場中学校1年生への職業講話「NPO法人グリーンママによる地域子育て支援」を行い、子育て支援の必要性の理解へとつなげた。
- ・ 看護学校の「母性看護実習」を受入れ（横浜創英大学、横浜実践看護専門学校）、臨地実習を行うとともに、子育ての実際を間近で見ることで将来の自身の子育てについて考える機会を提供している。